

平成 28 年 11 月 4 日

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科 で

人工関節置換術・人工関節再置換術

の治療を受けた患者さんおよびご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

人工関節術後疼痛に關与する因子の研究（後ろ向き研究）

【研究機関】

鹿児島大学病院
整形外科・リウマチ外科

【研究責任者】

鹿児島大学大学院
近未来運動器医療創生学
特任准教授 瀬戸口啓夫

【研究の目的】

近年、人工関節置換術の有用性が示されています。しかしながら、術後の疼痛は離床やリハビリテーションを遅らせ、入院期間の長期

化や血栓症などの増加につながります。人工関節術後疼痛に関与する因子については未だ不明な点が多くあり、十分な検討がされていません。

この研究の目的は、人工関節置換術後の患者さんを対象に、術後疼痛の危険因子を同定することです。この研究を行うことにより、術後の疼痛の緩和治療が期待できます。

【研究の方法】

この研究は、過去の診療録（カルテ）や検査データなど診療の記録からデータを抽出して、統計学的解析を行うことにより術後疼痛に関与する因子を同定します。この研究に参加いただくことで副作用はありません。

●対象になる患者さん

平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日までに、鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科で変形性関節症、関節リウマチ、大腿骨頭壊死症、外傷、人工関節後感染、人工関節の緩みと診断され、人工関節の治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

診療録から以下の情報を利用します。

●主要評価項目：術前 JOA スコア

●副次評価項目：カルテから収集可能な検査結果 画像所見 BECK score,麻酔法、手術内容、手術時間、出血量、術前術後血液データ、術後鎮痛剤、車椅子移乗開始日、術前、術後 VAS

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さ

んを直接特定できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科整形外科学分野の研究費（用途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学大学院 近未来運動器医療創生学

役職 特任准教授 氏名 瀬戸口啓夫

電話 099-275-5381

FAX 099-265-4699